

2011年3月22日

関係各位

国際ロータリー第2640地区
ガバナー 米田眞理子
災害支援対策本部長
小野 晃範

ご報告

急啓 先日来よりクラブ皆様から続々と届いております支援物資を第一弾として、福島の大橋ガバナー様に毛布1000枚と支援物資を届けました。

19日はお元気なご様子で（でも憔悴されておられました）お目にかかれ、お互いにロータリーの奉仕の心を通い合わせ、これこそロータリーだ！！と語り合えて本当に感動的な場面でした。

大変悲惨な状況でおられるにもかかわらず、支援隊にお気遣い賜り少ない食料事情にもかかわらず、お弁当をご用意していただきました。深夜無事帰阪しました。

災害支援隊の動きを参考のために報告します。

18日真夜中に大阪を出発

2640地区ガバナー米田を先導に 地区副代表幹事3名 地区幹事1名 クラブ幹事1名 10tトラック運転手1名 合計7名

前日に堺警察より緊急車両許可書を受けて、RIテーマ入りガバナー車・10tトラック・救急車（タイヤはスタッドレスに履き替え）合計3台で出発。泉大津地場産業の暖かい高級毛布1000枚（避難場所用）、他に地区内各クラブからの支援物資多数を満載して出発しました。夜中ずっと走っていました。

緊急車両指定を受けていたため、ガソリンの供給優先、高速道路進入禁止場所も通行OK、高速代無料 以上の支援を受け、新潟に翌朝8時に到着。

大橋ガバナーのお知恵で、会津若松インター（手前から通行止めであるが緊急車両指定を受けていたので通行OK）出口付近のロータリアンの運送業者駐車場にて10tトラックから荷物を福島行きトラックに積み替えて、外部から福島には入れない状況下で地元のロータリアンにその後はお任せしました。

RI第2530地区の大橋ガバナーご夫妻自らそして多数のロータリアン多数のPDGがお迎え下さり、感激的な対面を果たしました。

カナダの国際大会以来の再会です。大橋ガバナーご夫妻は大変頑張っておられ支援活動中の私たちも勇気を頂きました。会津若松にて支援物資引渡し式を完了。(ネット・ロータリーの友に既に掲載されています。)

その後、同じ経路にて帰阪しました。

途中、大橋ガバナー様よりお電話頂き無事帰阪した旨報告しました。

現地のロータリアンのお手伝いがあったこそ、無事に何の混乱支障もなく支援物資をお届けできました。ロータリーの連携の重要性を認識いたしました。

帰路パーキングエリアにてガソリン不足で福島から退去できなくなった車(高齢の女性2人と猫)にガソリンを提供してまいりました。

物資支援活動ならびに復興支援を今後も引き続きしてまいりたいと思います。義援金も集まってまいりました。特に大きな被害を受けた地区には重点的な支援活動が必要かと思えます。現場の方々が一番状況を良くご存知で、このガバナー間のメーリングが今回のように役立つことをありがたく思っています。

第2弾が21日深夜に大阪を出ます。この便は埼玉方面に向けて運びます。

茨城の山崎ガバナーと連絡が取れています。

昨年地区大会でお世話になりました中村R I 研修リーダーのところまで何とか行って、そこで中継役をお願いしております。

この便が戻り次第、各ガバナー事務所を中心とする支援物資お届けに引き続き活動したいと思っております。何卒引き続きご支援をお願い申し上げます。災害支援に関しましてはホームページに掲載いたします。

対策本部の計画

初期 支援物資の搬入 全国ガバナー事務所を拠点

中期 義捐金 募金活動 日本ロータリーを拠点

継続 復興支援 ボランティア活動 各クラブ・ロータリアンを中心

温かいご支援の申し込みに心より御礼申し上げます。